

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	砂防等事業（事業間連携砂防等事業）				
地区名	ちからいしがわだいらしせん カ石川第7支川				
事業箇所	とよたしなかがねちょうちない 豊田市中金町地内				
事業のあらまし	カ石川第7支川は、豊田市に位置する土石流危険溪流であり、流域の荒廃が著しく、溪床には不安定土砂が多量に堆積している。土石流が発生した場合、直下の人家15戸、国道153号に甚大な被害を及ぼす恐れがある。このことから、砂防堰堤1基を整備する全体計画を策定し、土砂災害対策を進めるものである。				
事業目標	【達成（主要）目標】 ・ 人家15戸及び国道153号等を土砂災害から保護することを目標とする。 【副次目標】 ・ なし				
計画変更の推移		事前評価時 (2013)	再評価時 (2019)	変動要因の分析	
	事業期間	2014～2021	2014～2022	用地交渉の難航	
	事業費（億円）	3.0億円	3.0億円	—	
	経費内訳	工事費	2.39億円	2.19億円	精査によるもの
		用補費	0.42億円	0.42億円	—
		その他	0.19億円	0.39億円	精査によるもの
事業内容	砂防堰堤工 1基 溪流保全工 10m	砂防堰堤工 1基 溪流保全工 10m			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	【事前評価時の状況】 ・ 保全対象を土石流から保護する必要がある。 【再評価時の状況】 ・ 保全対象に変化はない。 【変動要因の分析】 ・ なし			
	判定	B	A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。		
		【理由】 ・ 事業着手から必要性について変化はないため。			

②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	【事業計画及び実績】										
			2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	合計	
	工種 区分	調査・設計	←		→							
		用地補償			←	→						
		工事					←				→	
		堰堤工					←				→	
		溪流保全工								←	→	
	事業費 (億円)	前回計画			1.5				1.5		3.0	
		実績			1.6			0.93			2.53	
		今回計画			1.6				1.4		3.0	
		【進捗率】										
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況							
		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】						
		延長(km)	—	—	—	—						
		事業費(億円)	1.50	1.60	106.7%	3.00	53.3%					
		工事費	0.89	0.84	94.4%	2.19	38.4%					
		用補費	0.42	0.40	95.2%	0.42	95.2%					
		その他	0.19	0.36	189.5%	0.39	92.3%					
		【施工済みの内容】										
		なし										
	2) 未着手 又は長期化の理由	・計画地の地権者から施設配置等について理解が得られず、用地取得が難航したため。										
	3) 今後の事業進捗の見込み	【阻害要因】 ・なし 【今後の見込み】 ・阻害要因は解消されたため、工事着手し2022年には完了する見込みである。										
	判定	<p>A: これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B: 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C: 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>										
		【理由】 今後地元の意向に配慮して事業を進めることにより、計画通りの完成が見込まれるため。										
III 対応方針												
	継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。										
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容												

■対象（事業完了後 5年目） □対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

・該当なし

【主な評価内容】

・砂防堰堤や保全対象の状況から、事業効果を確認する。